

1軸配向極点図の平滑化を行う

# SMAxisOrientationソフトウェア

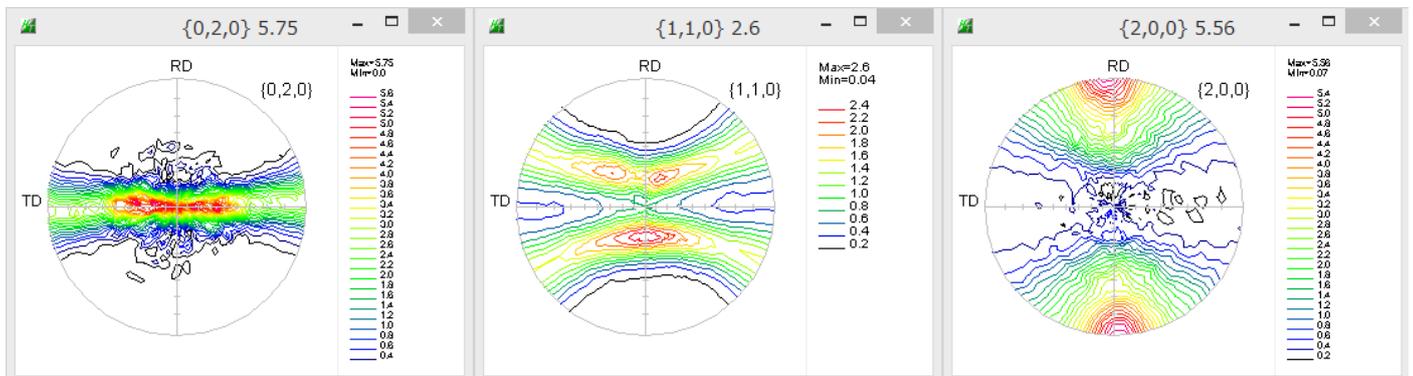
Ver.1.01

2020年07月25日

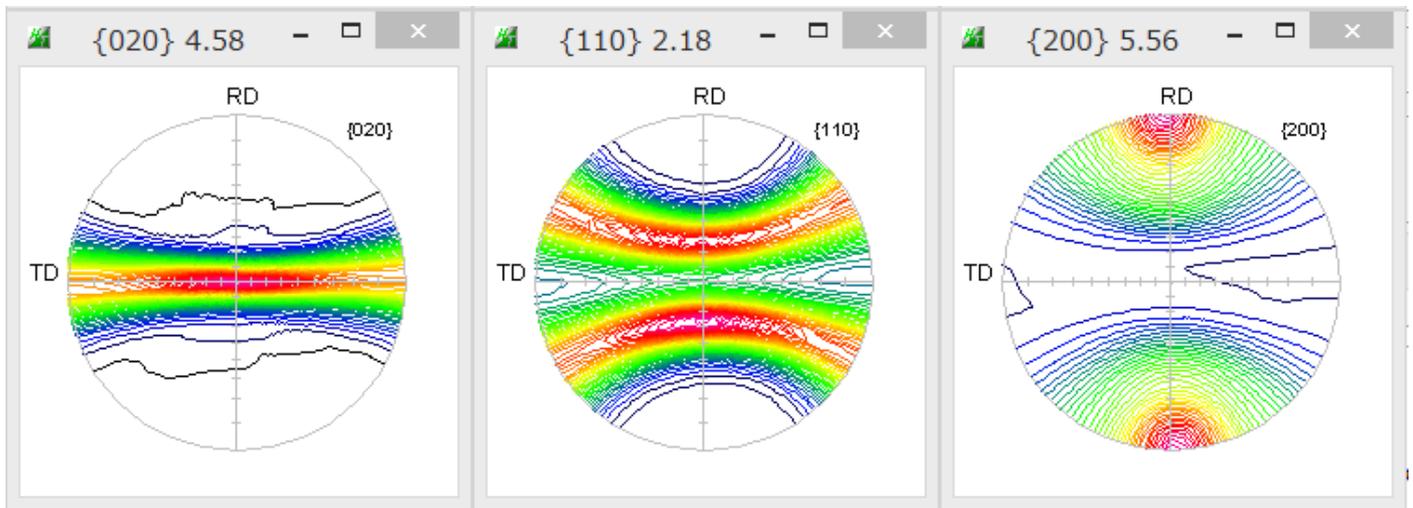
*HelperTex Office*

## 概要

高分子材料の軸配向状態の極点図は良く経験する。しかし、思うような処理が出来ない。  
本来の1軸配向状態にならない。  
そのような極点図を本処理で1軸状態へと処理を行う。



本処理で



の1軸配向極点図に変形する。

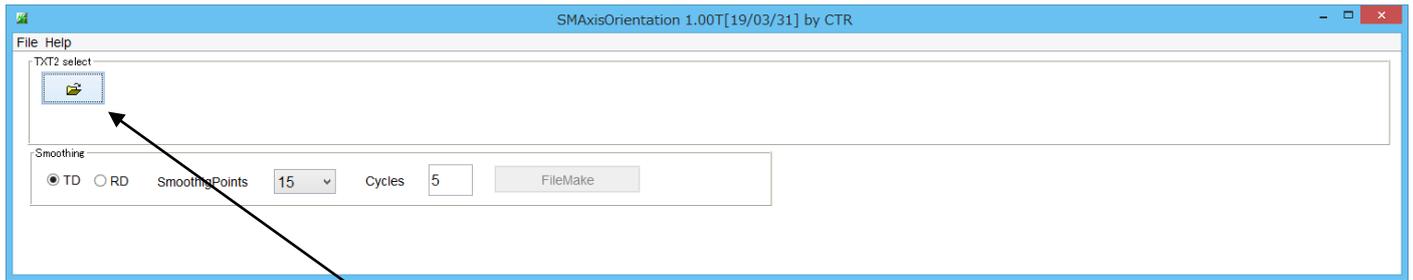
ソフトウェアの起動

C:\¥CTR¥SMAxisOrientation.jar を直接起動

ODFPoleFigure2(1.5)->PoleOrientationTools->SMAxisOrientation から起動

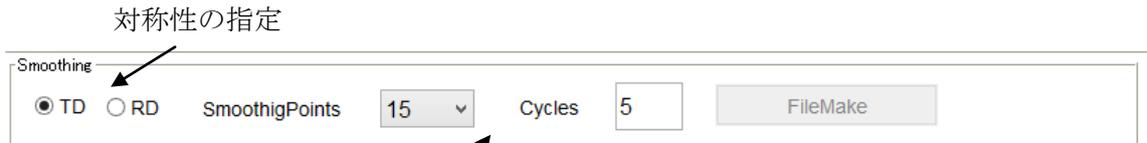
## ソフトウェアの使い方

透過、反射極点図を接続で、ファイル名が長くなるので、細長い画面になっています。



完全極点図の TXT2 の選択

## 平滑化

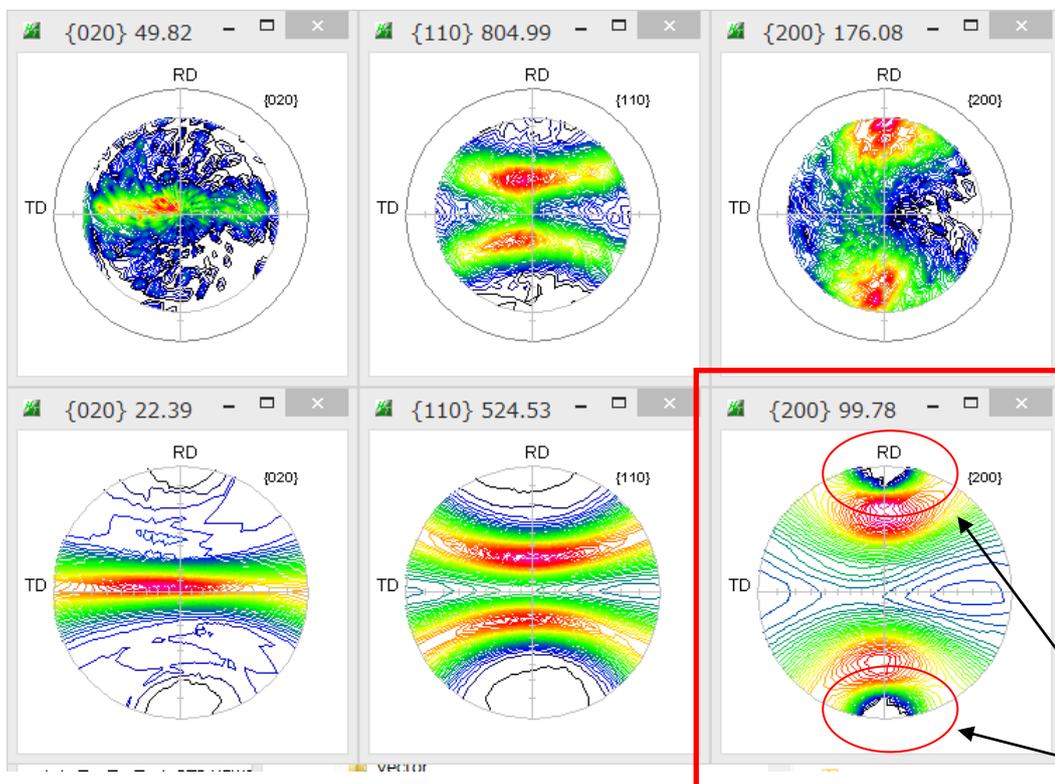


平滑化点数と繰り返し回数の指定

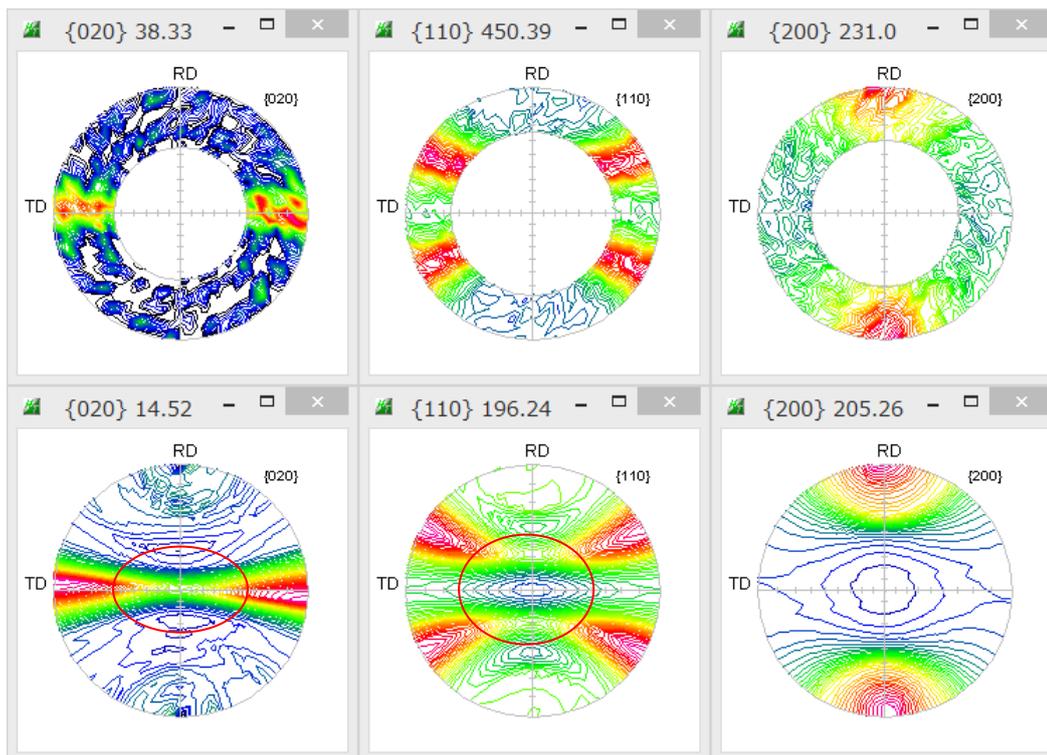
平滑化データが作成される。

T X T 2 ホルダに tmp ホルダと SM ホルダが作成され、  
平滑化データは、SM ホルダに作成される。

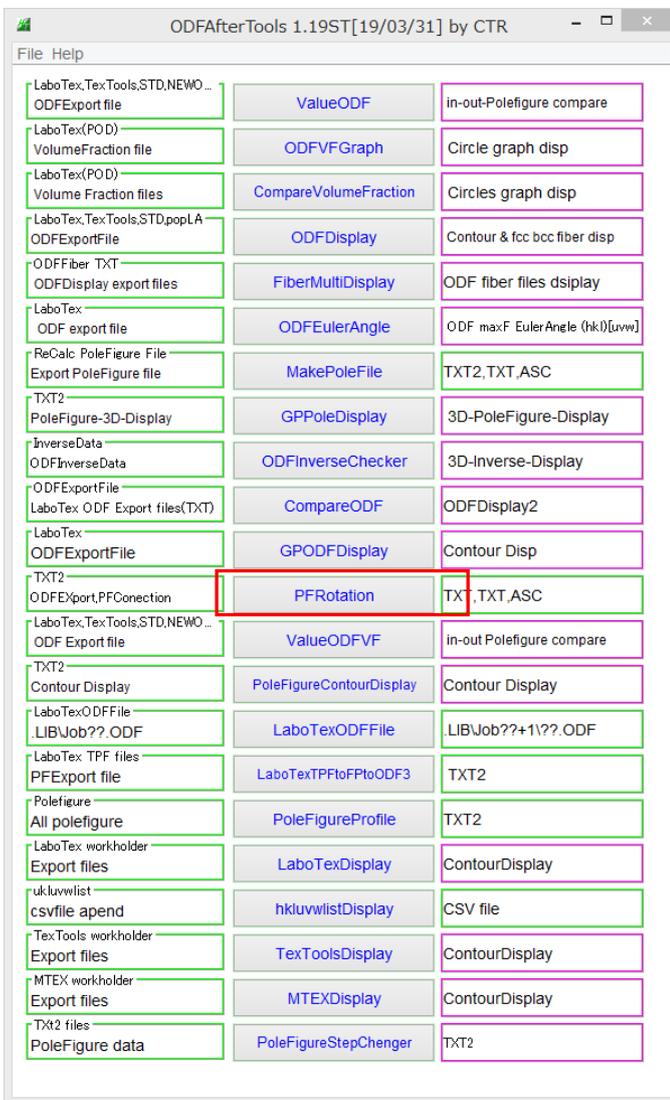
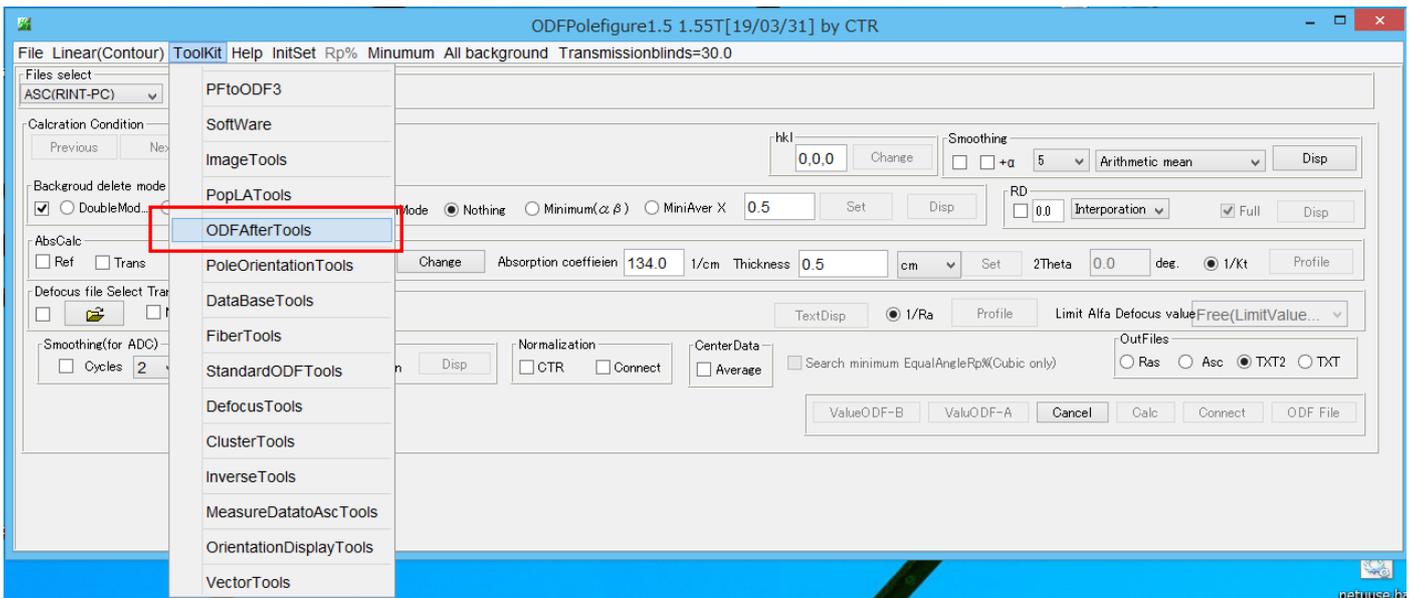
完全極点図が望ましいが、不完全極点図に適用した場合



再現できません。



従来のソフトウェアで同一処理を行う（不完全極点図には適用できません）



ODFPoleFigure1.5(2)の ToolKit から  
ODFAfter を選択

PFRotation ソフトウェアで  
軸配向から面配向（TD 軸回転、RD 軸回転）し  
ASC データとしてファイル作成

ODFPoleFigure1.5(2)で ASC ファイルを読み込み  
 $\beta$  方向の平滑化を行い、繰り返す為、ASC ファイル作成  
上記を繰り返す、

平滑化の終了は、TXT2 ファイル作成

PFRotation ソフトウェアで  
面配向から軸配向に回転し、TXT2 ファイルを作成

これで、同一の処理が可能です。